



あらかわらばん

2020.2
(Vol.30)



まち協HP <http://www.love-arakawa.bz-service.net/> Mail: love-arakawa@bz04.plala.or.jp

あらかわみらいファンド報告会開催のお知らせ

「ファンド助成事業」について、事業報告会を開催いたします。助成を受けた各団体の活動状況や成果等の発表をぜひお聞きください。

1. 日時 令和2年3月8日(日) 午前8:30～
2. 会場 荒川支所3階 会議室
3. 発表団体と事業名

- 大津獅子保存会 「大津獅子統一衣装で絆を深め、世界へ発信」
- ふくちゃ部 「発達が気になる子どもとその家族を包み込む」コミュニティ作り」
- いろむすび山菜屋 「～野菜の手前は山菜～いろむすび山菜地域商社」
- 金屋小学校PTA 「金屋っ子のミンプルを取り戻せ」
- フリースタイルアラカワ 「ヨイマチ アラカワ ビアガーデン」
- あらかわ大地の会 「あらかわの大地を学ぶ」
- フラワーズ 「公園を花いっぱい」
- 健康サポートプラス 「無添加～荒川ヨシヨシ【麴の匠】～」

～令和2年度の助成事業説明会も開催～
当日、午前11:00(報告会終了後)から令和2年度の助成事業説明会を開催します。

～あらかわみらいファンドとは？～

自らの発想で自主的にまちづくりに取り組む団体や個人を応援するため設立された助成制度であり、左記のように様々な取り組みの支援しています。



坂町病院ナイトスクール開催のお知らせ

坂町病院の現況報告と医師によるミニ講演会、皆さんの疑問に直接医師が答える情報交換会で好評の「健康ナイトスクール」が今年も下記の日程で開催される予定です。申込み不要・無料なので、ご家族やご友人とお誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。

1. 日時 令和2年3月13日(金) 18:30～20:00
2. 会場 荒川地区公民館



- ミニ講演①「地域医療の今後と坂町病院」 鈴木薫 病院長
- ミニ講演②「感染症予防のこぼなし(仮)」 島津翔 内科医長

昨年9月末に厚労省から湧いた「424病院再編問題」と、昨年12月に中国で発生した新型コロナウイルス肺炎にも関連するテーマですね。

みんなで歌って健康に♪



2月は
旧議場で
22日開催です!

毎月第4土曜
午後1時半～開催中♪

編集あとがき 支援・情報部会 よこやま

中国で発生した新型コロナウイルスによる肺炎が猛威を振るってないことを祈るばかりです。本紙作成中は荒川地区で交通死亡事故や火災があり、先の感染症も含めて、様々な問題で予防・発見・対応というものを考える機会となりました。身近で出来ることをするだけでも違いは出てくるものと思います。

～アドラー式子育てって?～

アドラー心理学の「勇気」を育児に取り入れる、「できない」のではなく「できる」と子ども自身に思わせるように動機づける子育てがアドラー式子育てです。

子どもが思うように動いてくれないとか、子どもを怒り過ぎてしまう自分に自己嫌悪など……日々子どもと向き合うママたちの悩みは尽きません。そんなとき、アドラー心理学の考え方を取り入れることで、悩みの多い育児が少しでもスムーズに、楽しいものになるとしたら。。。

保育士育成に従事する立場であり、そして3人の子どもたちのママでもある、ふくちゃ部員の渡辺彩さんを講師に迎えます。ママ目線で分かり易く楽しいプチ講座が始まりますよ～(^_^)



アドラー式子育てプチ講座

※要予約となります。

日時: 令和2年3月1日(日)
10:00～11:30
場所: つどい場「あら、ほっ」
(旧荒島保育園)

参加費: ふくちゃ部員500円
部員外800円(1組につき)
お子様と一緒にの参加も大歓迎です!

【予約・お問合せ先】 ふくちゃ部 富田
でんわ: 090-2163-0696
メール: ssyck850@yahoo.co.jp
【HP】 <https://hukutyabu.amebaownd.com/>



ひだまり農産が農林水産大臣賞を受賞

荒島の株式会社ひだまり農産(代表取締役:川村学さん)が、昨年12月5日に「全国優良経営体表彰」の経営改善部門で見事、農林水産大臣賞を受賞しました。

この賞は、農業者の一層の経営発展を図ることを目的に、優れた経営を行っている農業経営体を表彰するものです。

川村さんは、「父から譲り受けた先祖伝来の農地を継承し、後継者不足の農業を守っていくために機械化や法人化により地域の農業経営者の経営も継承している。これからの将来を担う若い人たちに農業を知ってもらうきっかけづくりとして、集落と共同で田植え体験やもちつき大会も行っています。私は、地域の農地(農業)を守っていく事は、地域を元気づけ故郷を守ることに繋がっていくものと確信しています。」とお話をいただきました。



アグリフロンティア時田卓^{たかし}さん村上牛表彰

中野の合同会社アグリフロンティア(代表社員:時田卓さん)が、昨年10月24日に開催された「新潟県肥育牛求評共励会」で最優秀賞を獲得しました。

また、12月6日には、最優秀賞となった牛を自家生産したことで「にいがた和牛推進協議会長賞」も受賞しました。時田さんは、素牛生産と肥育の両面で優秀な手腕を発揮されています。

時田さんは、「子どもの頃から牛と一緒に暮らしており、通学前に牛の世話をしていた。今から7年ほど前に就農し、亡き父は寡黙なので特別何かを教わった訳ではないので、手探りで畜産を勉強しながらの日々。父は、今回獲得した最優秀賞を2連覇しており、記憶にある限りでは過去に連覇した人はいないと思う。父の壁は高すぎて今は越えられないものと思っているが、いつかは父の壁を越える事ができるよう精進したい」と話してくれました。

あら、ほっの冬休み

12月25日から3日間、冬休みに突入した荒川地区の小学生を対象に、つどい場「あら、ほっ」を開放しました。

約30名の子ども達が集まり、宿題をしたり、鬼ごっこをしたり、お昼には臥牛山さんとちゃんこ鍋を作ったり、楽しい冬の思い出をたくさん作りました。



臥牛山とちゃんこ作り



酒井幸子さんと



元気に外遊び



プラ板工作

金屋小学校書き初め大会

金屋小学校で、1月8日に書き初め大会が行われました。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆の書き初めです。

子どもたちは、『冬休み中に家で練習してきたんだよ〜』と書き終えた作品を誇らしげに見せてくれました。



まち協 年オンナの抱負 ~事業部会の古林^{さよ}紗代さん~

事業部会の古林です。皆さん、今年もよろしく願いいたします。まずは、今年も家族みんなで明るく健康に1年を過ごせるようにと願っています。

まちづくり協議会の一員としては、荒川地域を住みやすく元気に盛り上げたいと思っても、実際に行動に移せていない人達とつながりを作って、そこから生まれる相乗効果で人も街も元気になるような取り組みができればいいと考えています。





あらかわトータルリサーチ co.ltd file.013



**Q あらかわの未来は安泰！？
グローバルな活動をする荒中生をリサーチせよ！**

あらかわで活躍するネクストジェネレーションズをがっつり応援するのがトータルリサーチ流!!
今回は国際理解教育プレゼンテーションコンテストに出場した2組のうち、
最優秀賞を獲得したチーム「AB5」にインタビューしたぜ!!
いったいどんなグローバルな活躍をしたヤツらなのか、わくわくしながら母校&後輩に突撃だー!!!!

そもそも「国際理解教育プレゼンテーションコンテスト」とは？

新潟県内の中学生・高校生が「国際理解」について考えたり、行動したりしていることの発表の場。
荒川中からは2組が出場。「わたしたちのゴミのゆくえ」と題し、ゴミ問題の世界規模での影響を詳しく調べ、
保内小で出前授業を行ったグループ。アフリカ大陸の国・ベナンの貧困を解決する糸口を探り、ベナンの子どもが
作ったサンダルと、AB5の5人が手作りしたパーニユ製品を日本で売って文房具や算数セットの寄付を成し遂げた
グループだ。このうち、ベナンの貧困解決を図ったグループが最優秀賞を受賞した！

懐かしい校舎に突撃し、案内されたのは1年2組の教室。メンバーたちが爽やかに迎えてくれた。
聞けばこのチームは全くの有志が集まったとのこと。青年海外協力隊の方の出前授業がきっかけで、
純粋に問題意識を持って集まった集団なんだから。
話を聞いてオジサンは思った。「気づく」ことさえ普通は難しいのに、
その先の「行っちゃおう」まで荒中生たちは踏み出すことができている!! パネ!! 荒中生マジパネっす!!!!
チャライオッサンに少し緊張気味ながらも、メンバーはこれまでのリアルなエピソードをはなしてくれたぞ!!



なんでこのプロジェクトをやろうと思ったの？

世界の問題にもともと興味があったし、何か行動することで遠い国の
誰かの役に立って、「つながり」ができると思った (橋本さん)

世界で誰かの役に立つ青年海外協力隊の方の話聞いて、憧れに
思うと同時に、自分も役に立てるかもしれないと考えた (小島さん)



不安だったときや、逆に「いける!」と自信になったときは？

最初はあまりいいアイデアが出なかった。商品売るため、
マーケティングも学んだが、実際に売れるまでは不安だった。
商工祭で完売したことが、とても自信になった (富樫さん)

商工祭での売り上げや、文化祭での募金、荒中生に協力をしてもらった勉強セットを
ベナンに送った。盗みなど犯罪もある地域だと聞いたが無事に届いてよかった。
ベナンの子どもから、動画で「ありがとう、荒中」って日本語のメッセージが
届いたときは、遠いベナンの子どもたちの役に立てたことを実感した (一ノ瀬さん)



このプロジェクトを通じて、日本や地域の見方、自分の考え方は変わった？

大きな視点で物事を見るようになった。例えば、ゴミや環境問題のことも、
自分たちの行動で世界がどうなるのかと考えるようになった。リユースや
リデュースの必要性を感じるようになった (伴田さん)

ベナンの現状を知ることで、あらかわの良いところや恵まれているところが
本当に見えてきた。清流といわれる川があるだけでも世界から見たらすごいこと。
ここにしかない、いいところに誇りを持てた (橋本さん)

指導された増田先生も「最初は何も決まらなかった。けれど、生徒たちが自分たちなりにアイデアを
出してきて形になりました」と話す。アイデアが膨らむ中、はじめは5人だけの小さなプロジェクトだったが、
少しずつ校内に認知度が広がり、荒中全体が重く大きなムーブメントになっていったようだ。
つまり、5人をきっかけにして荒中生みんなが「行っちゃおう」したってことだね!! すばらしい!!
ポス!! そして荒川の皆さん!! 荒中生、すごいすよ!! あらかわの誇りす!!!!

調査結果

荒中生たちは、
世界規模の問題を考え、
身近なところから
行動することによって、
**あらかわスピリットを
世界に発信していた!!**

村上市競技スポーツ強化事業～宇津木妙子さん講演会～

1月25日に荒川地区公民館で、女子ソフトボール日本代表元監督の宇津木妙子さんが講演を行いました。会場には約150名が訪れ、そこにはプロスポーツ選手を目指す子ども達の姿も見られました。

宇津木さんは、「ソフトボールという競技を通して、挫折や人間不信など多くの壁や困難にぶつかってきたが、つらい事を乗り越えてきたからこそ、今の幸せがあると実感している。小さくても毎日の『努力』を積み重ねることが大事。失敗することを恐れず、そこから這い上がることで強い人間、強い選手になることができる。『努力は裏切らない』様々な事にチャレンジしてほしい。」と話してくれました。



水面下

今回は番外編です！

彼女と十日町市にある日本三大渓谷・清津峡トンネルに行った際の写真をセレクトしました。

荒川地区からはかなり離れていますが、とても美しい景色が広がっており、ロマンチックです！

家族や友人、恋人と行くことをお勧めします！

さて、次回はどこを撮ろうかな！



ちょっと撮影して欲しいといった時に声を掛けてくれたら嬉しいです。

Instagram : ryutopia8
<https://www.instagram.com/ryutopia8>

